

中山間地の維持管理 活動報告書

NPO 法人日本ビオトープ協会
静岡地区委員長 藤浪 義之

活動名称 崩野茶園の草取り作業
開催日時 平成 24 年 5 月 17 日（木）午前 9 時半～午後 11 時半
開催場所 静岡市葵区崩野
主催 日本ビオトープ協会静岡地区
共催 静岡県里山復興協議会、しずおか環境再生医の会
参加者 計 25 名（男性 10 名、女性 15 名）

活動内容

崩野地区は、静岡市街地より車で約 1 時間の中山間地にあり、平均年齢が 80 歳以上といういわゆる限界集落です。かつては良質の茶が生産された場所でしたが、後継者がなく耕作放棄されていた茶園を、当協会員である株式会社丸マが平成 22 年度に静岡県の耕作放棄地支援事業によって整備をしました。再び耕作放棄された状態に戻さないためには、継続的な維持管理が必要となります。そこで昨年 2 月に引き続き今回 2 回目となる草取り作業を、静岡県里山復興協議会（会長杉山恵一）、しずおか環境再生医の会（会長重岡 廣男）、本協会の 3 団体の呼びかけで開催いたしました。

前回 2 月には肥料を撒き、撒いた肥料を土に混ぜ込むために耕運機を使用しましたが、その甲斐もあって、薄緑色の茶葉がきれいに育っていました。標高のあるこの地域は一番茶の時期が少し遅く、特に今年は寒さのために遅れていて、今がまさに摘み時とのことでした。初夏とはいえ日差しがある中、傾斜のある場所での草取り作業は、思った以上に大変でした。

今回の参加者は、女性の方が多く、草取り作業の合間に炊き出しをしていただき、草取り作業が終わった後には、皆さんと交流しながらの昼食となりました。また、茶園の持ち主の鍋田さんが摘んだばかりの新茶を蒸して、炒って、もんだものを飲ませていただきましたが、ほんのりとした香りとまろやかな味で、まさに「一級茶」の味を堪能しました。

